

尾道市立市民病院広報誌

第38号

発行日：平成30年1月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
tel:0848-47-1155
fax:0848-47-1004
http://onomichi-hospital.jp/

しまなみ



尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

院長 突沖 満則

あけましておめでとうございます。

新しい年も尾道市立市民病院は、「信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守る」ことを理念として、急性期医療を中心に、救急医療、高度先進医療、がん治療に重点を置きつつ、地域医療支援病院としての役割を果たして参ります。

安全で質の高い医療の提供に寄与するために、昨年6月、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。「患者中心の医療の推進」「診療・ケアにおける質と安全の確保」「チーム医療による診療・ケアの実践」「医療関連感染制御に向けた取り組み」「施設・設備管理・経営管理」等、様々な角度からの審査を受けた結果、一定の水準に達していることが認められ、認定病院として登録されました。このような第三者からの中立的な評価を受けることは、施設や医療水準、経営のありかた等、あらゆる面について、何か問題点はないか、全国の病院の中でどのくらいの水準を保っているのかを客観的に見つめ直す良い機会となりました。これからも、さらなる病院の質の向上を目指して改善活動を継続して参ります。

急性期医療、がん治療に貢献するため、昨年のMRIの更新に続き、今年は、マンモグラフィーの更新、手術ナビゲーションシステムの導入

を行います。これらの高度医療機器は、地域の医療機関とも共同利用し、広く有効活用していただくことで、地域医療支援病院としての役割も充実させて参ります。

また、昨年6月から地域包括ケア病棟を稼働させております。急性期を過ぎて病状は安定しつつあっても、まだ他院に転院したり退院するまでには至っていない患者さんも多くおられます。域包括ケア病棟は、このような患者さんに対し、リハビリを中心とした医療を提供し、さらに病診連携を重視した地域連携を行うことで、安全・安心に在宅復帰していただくことを目的として運用しております。

今年4月には3名の初期臨床研修医を迎えます。将来、尾道の地域医療を担ってくれる人材を育成し、若い医師を育てることで、病院全体の活性化にもつながることを期待します。

医師不足や医療費削減等の政策により、当院は依然として厳しい医療環境におかれています。しかしながら、病床再編成や多職種協働によるチーム医療の充実、尾道方式による地域医療連携を通じて、皆さまに少しでもよい医療を提供できるよう知恵をふり絞りながら当院の役割を果たして参りたいと思います。

今年も当院の運営に皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域連携部在宅訪問部門の取り組み

安心できる在宅療養支援に向けて！

●在宅訪問部門の取り組み

高齢化に伴い、医療ニーズが高い高齢の患者さんが増加してきています。このような入院患者さんに対して、安心・安全に在宅療養に移行され、在宅療養生活が継続できるようにサポートする体制として、平成29年4月、地域連携部に在宅訪問部門を新設しました。退院の前後の一定期間、ご自宅を訪問してさまざまなアドバイスや支援を行います。

在宅訪問部門と在宅療養支援室の看護師がさまざまな支援を行うことによって、入院患者さんがスムーズに在宅療養に移行できるようにしています。高齢の患者さんやご家族の多くは、退院

して在宅復帰するまでにどの程度身体機能を回復できるか不安に思われています。そのような場合には、退院前訪問を実施し、介護保険サービスの利用を念頭に置きながらご自宅での療養環境を整えることを検討し、必要に応じて介護保険の申請を行います。そして、退院直後の病状の不安定な時期を支えるために、退院後訪問を実施し、在宅での療養生活についての指導を行い、不安を解消するよう努めています。また、患者さんの身体の状態を理解している病棟の担当看護師も一緒に訪問することで、無理のない適切な在宅療養を送れるよう配慮しています。

*在宅訪問部門は、地域連携室に併設されています。

スムーズに在宅療養に移行できるようにお手伝いします。



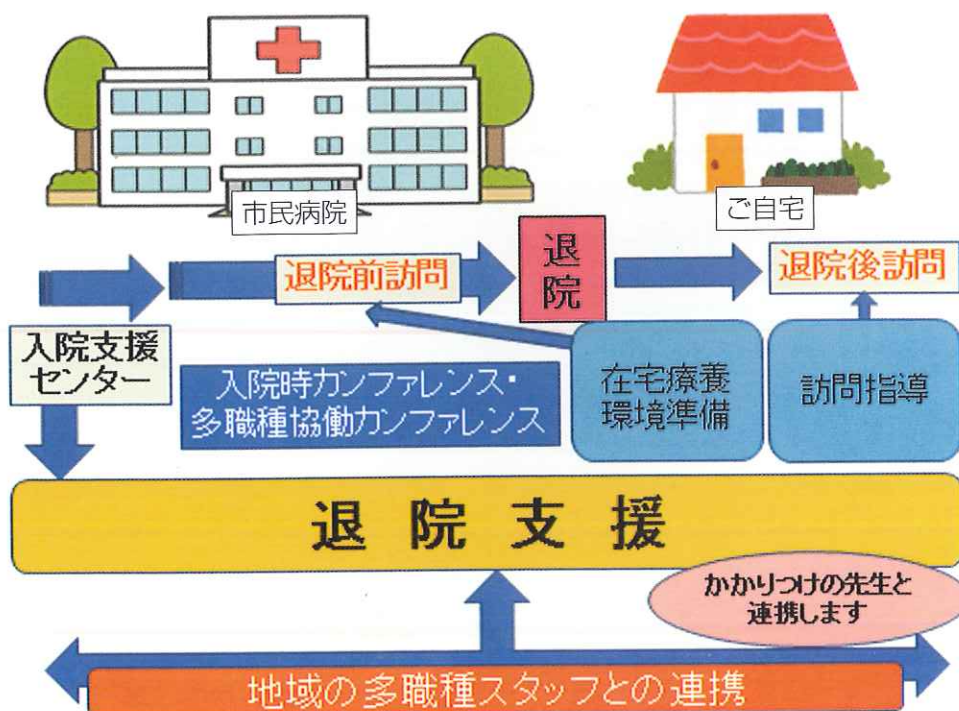
在宅療養支援室



ご自宅を訪問して、安心して在宅療養できるようサポートします。



在宅訪問部門



●退院前訪問で何をするの？

ご自宅には、看護師のほかに、リハビリスタッフや地域のケアマネジャーも一緒に訪問します。

トイレやお風呂に安全に行けるかなどをリハビリスタッフがチェックし、生活に必要な移動や動作が安全にできるように、ご自宅の環境を整えたり、福祉用具のレンタルについても検討します。



たとえば、日常の動作を支え、転倒を防止する役目を果たす手すりの取り付け位置については、患者さんに最も合う位置を入念に検討します。

また、車椅子や歩行器などの福祉用具が必要か、実際に持ち込んで、使用してもらいながら一緒に考えます。



ご自宅までの階段をリハビリスタッフと一緒に登ってみます。

●退院後訪問では何をするの？

退院後の訪問では、ご自宅での療養が適切に行われているか、医療的な立場から確認し、指導するとともに、療養生活を送るうえで困っていることや不都合なことはないかをお伺いします。

このときも、リハビリスタッフやケアマネジャーが同行し、住宅環境や福祉用具の使用について再度チェックし、必要に応じて見直しを行います。



インスリン注射は正しい方法で行われているかを確認します。



在宅酸素の管理・使用方法は適切かを確認します。

内服薬は確実に飲めていますか？



お薬カレンダーを使いましょう

ストーマ(人工肛門)の管理・使用方法を確認します。



第4回病院まつりを開催しました

去る11月25日(土)、尾道市立市民病院の1階フロア及び駐車場において、病院まつりを開催しました。

病院まつりは、市民の皆様方との交流を図るとともに、市民の皆さんにご自身の健康や医療に対する関心を深めていただくことを目的に開催しており、今回で4回目を迎えました。

待合ロビーに特設されたステージでは、楽器

演奏や歌、踊りなどのステージイベントが催され、駐車場では、尾道消防署のご協力により、はしご車や救急車の試乗体験が行われました。

そのほか、職員が部署ごとに企画したイベントや屋台等、盛りだくさんの内容で、今回も盛況のうちに幕を閉じることができました。

参加して下さったみなさん、ご協力いただきました方々に改めてお礼を申し上げます。



院長による開会のあいさつ



オープニングを飾ったJAZZバンドの演奏



はしご車の乗車体験



キッズコーナー



「びさんじん」によるよさこい踊り

■あなたの血管年齢いくつですか？

中央検査室は、午前中2時間、午後2時間血管年齢検査(CAVI・ABI)を、先着順に無料で実施しました。

希望者が予想以上に多く、当初予定していた40名の枠はすぐに満員となり、なんとか10名増やして最終的に50名に検査を受けていただきました。

検査を受けた方からは「ずっと気になっていたが、機会がなく検査できずにいた。今回検査を受けられて良かった。」「思っていたよりずっと血管年齢が若くて嬉しい。」「食生活と運動に気を付けます。」等の言葉をいただき、皆さんの血管年齢への関心の高さに驚きました。

中央検査室

ご来場いただいたみなさまのお役に立つことができ、また、普段は聞くことのできないご意見を聞くことができ、たいへん有意義な一日でした。



■野菜生活はじめませんか？

栄養管理室では、『野菜生活はじめませんか?』というテーマでブースを開設し、訪れた方々に、普段食べている野菜の量を実際の野菜を用いて計量してみるという体験をしていただきました。

1日の目標量(350g/日)と比較して、野菜の摂取が少ない方、多い方、様々でしたが、自分では十分な野菜を食べているつもりでも目標量に達していない方も多く、「1日に必要な野菜の量を確認することができた」と好評でした。

また、食事の悩みをお聞きしたり、減塩調味料や低糖質甘味料などの試供品をお渡して使用

栄養管理室

方法などを説明させていただくなど、食に関するさまざまなアドバイスを行ないました。



■高校生医療体験

副院長兼看護部長 上谷 紀子

今年で第4回になりました「病院祭」が平成29年11月25日(土)に開催されました。

「開かれた病院」をコンセプトに『病院の仕事のをぞいてみよう!』ということで、様々な体験コーナーを設けました。そのうちの一つに「高校生医療体験」がありました。この体験コーナーだけは事前の予約が必要で、申し込み者は16名。全員が興味津々の様子で参加していました。

3つのグループに分かれて「外科の体験」・「胃カメラの体験」・「エコー(超音波)の体験」を実践しました。「外科の体験」は会議室に機器を準備して、「胃カメラの体験」と「エコー(超音波)の体験」は実際の検査室において、体験をしました。

6名の外科医師、3名の消化器内科医師、そ

して臨床工学技士、臨床検査技師、看護師と多くのスタッフがこの「高校生の医療体験」の企画や実際の指導に当たりました。将来、是非、医療スタッフになっていただきたいという期待を込めて、できるだけ多くのことを経験してもらおうと、工夫を凝らして念入りな準備を行い、当日を迎えました。

終了時に記入してもらったアンケートでは、全員が「大変良かった」と評価してくれました。自由記載の意見として、「普段できない貴重な体験をすることができて良かった」「医療関係の仕事に就きたいと改めて思った」「実際の道具を使うことができて興奮した」「医師だけが治療をするわけではない等、すごく勉強になった」「来年も参加したい」など、多くの気づきと感想を記載してくれました。

「外科の体験」は実際の手術着を着て手術用のゴム手袋を装着し、皮膚に見立てた器具に実際の絹糸で縫合したり、腹腔鏡を用いて小さなマスコット人形『ツムツム』を挿んだり、積み上げたりすることを体験しました。



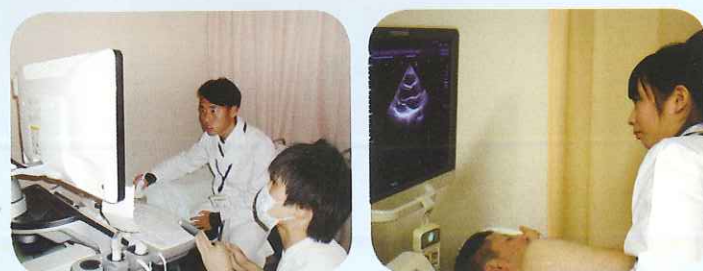
外科の体験

「胃カメラの体験」においては、医師が人体に見立てた模型を作成し、実際の胃カメラを使用して、口腔→食道→胃→十二指腸まで進めることを体験しました。また、医師が事前に鶏肉を用いて作成したポリープ様のものを切除し、止血を見立てた電気焼却をおこないました。



胃カメラの体験

「エコー(超音波)の体験」は、「腹部エコー」と「心(心臓)エコー」の2つのグループに分かれて行い、模擬患者さんに実際の『超音波プローベ(探触子)』を当てて、腹部の内部の状況と心臓の動き、心臓の弁の動きなど、画面に映し出された画像を確認しました。



腹部エコーの体験

心エコーの体験

第30回文化祭を開催しました

第30回病院文化祭を、去る11月24日(金)、25日(土)の2日間に渡って開催しました。

職員や患者さん、一般市民の方により出品された絵画や書、写真、生け花、フラワーアレンジメント、陶芸作品、手芸作品等の展示のほか、職員が部署ごとに作成した感染予防啓発ポスターが掲示され、来場者の投票によるコンテストが行われました。出展者数は82名で、作品数は100点以上になり、様々な展示品が並びました。

職員が和服を着てもてなすお茶会、整形外科小野医長によるお皿への絵付け体験、香りクラブによるアロマ・ハンドマッサージのサービスも行われ、来場者と触れ合いながら和やかなひとときを提供しました。

今年度で30回という節目を迎えることができましたが、毎年、ご応募・ご来場いただいている方々には改めてお礼を申し上げます。

次回の開催時には、いままで参加されたことがない方も、ぜひお気軽にご参加下さい。



職員によるお茶席



絵画作品



患者さんや院外から訪れた方々が熱心に作品を鑑賞しておられました。



フラワーアレンジ



生け花

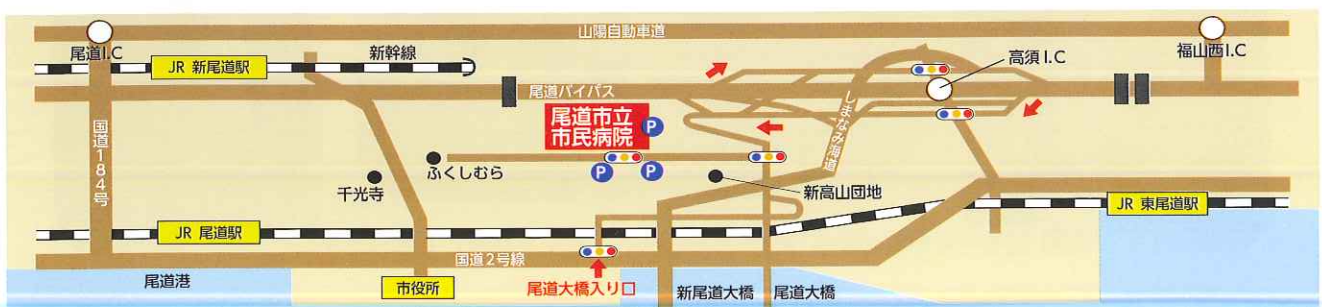


陶芸作品

診療科	科別	月	火	水	木	金	備考	
内科	午前	1 診	水戸川 剛秀 (内科全般)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)	水戸川 剛秀 (内科全般)	平野 紘康※1 (リウマチ・膠原病)	※1 予約制	
		2 診	開原 正展 (腎・高血圧)	開原 正展 (腎・高血圧)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)	山脇 泰秀		
		3 診	野島 一郎 (糖尿病)		山脇 泰秀	長澤 紗詠子 (糖尿病)		
		4 診				浅野 洋介 (総合診療)		
		5 診						
総合診療科	午前	藤本 靖郎	岡野 由佳	藤本 靖郎	岡野 由佳	藤本 靖郎		
	午後	藤本 靖郎		藤本 靖郎	山脇 泰秀	藤本 靖郎		
呼吸器内科	午前	西井 和也	西井 和也	片岡 幹男		大橋 圭明※4 片岡 幹男※5	※4 1月第1、第3金曜日 ※5 1月第2、第4金曜日	
	午後	検査			岡本 誠 ※6		※6 14:00~17:00	
消化器内科	午前	1 診	松本 栄治	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 欽生	
	午後	2 診		宮部 欽生				
循環器内科	午前	1 診	山田 大介	園光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	心臓リハビリテーション外来 (月・水・金)15:00~16:00
		2 診	小林 博夫					※8 第1・2火曜日 14:00から
	午後	診察		ペースメーカー外来※8				
		検査	心カテ	終食工コー	心カテ	終食工コー	心カテ	13:00~17:00
神経内科	午前							
	午後		岡本 美由紀				予約制	
外科 (肛門科)	午前	1 診	川真田/小野田	宇田 征史	宇田 征史	小野田 正	村田 年弘	
		2 診	井上 弘章	上塚 大一	木村 圭佑	川真田 修	川真田 修	
		3 診			上塚 大一(肛門科)			
血管外科	午前		越智 吉樹		越智 吉樹			
	午後			手術				
乳腺外科 (乳腺外来)	午前	高橋 侑子				下妻 晃二郎(予約)	9:00~12:00	
整形外科	午前	1 診	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	
		2 診						
		3 診	藤井 淳一	迫間 巧将	渡邊 益宜	渡邊 益宜	渡邊 益宜	
		4 診	小野 智毅	小野 智毅	迫間 巧将	椋平 将太	小野/藤井※10	※10 小野(第1・3・5金曜日)
		5 診	椋平 将太	装 具	装 具	装 具	装 具	※10 藤井(第2・4金曜日)
形成外科	午前		原 直紀					
	午後		原 直紀					
小児科	午前	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※11	井上 直樹	井上 直樹	※11 第2水曜日休診	
	午後		乳児検診		林(発達外来)※12	脇(循環器外来)※13	※12 第1木曜日 ※13 第4金曜日(偶数月)	
小児外科	午前		野田 卓男(予約)※14				※14 第1・3火曜日	
	午後							
脳神経外科	午前	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂	
	午後	2 診					岩戸 英仁	
産婦人科	午前	新患再来	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	
	午後	検査	検査	手術	検査	検査	検査	
皮膚科	午前	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	
	午後	検査	手術	手術	検査	検査	検査	
泌尿器科	午前	1 診	大枝 忠史	河田 達志	大枝 忠史	能勢 宏幸	大枝 忠史	
	午後	2 診	能勢 宏幸	大枝 忠史(予約)	能勢 宏幸	大枝 忠史(予約)	河田 達志	
耳鼻いんこう科	午前	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院より	
眼科	午前							
	午後		佐々木 (睡眠時無呼吸外来)			諫見 久恵	午前のみ	
放射線科	午前	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	
		治療	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	沼 真吾	
		画像診断		片山 敬久(予約)				
歯科口腔外科	午前	吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘		
	午後	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制	

専門外来のご紹介(予約制)

- 月 曜 : ストーマ外来(第2・4)/頭痛外来
- 火 曜 : ペースメーカー外来(第1・2週)/睡眠時無呼吸外来/緩和ケア相談外来(午前)
- 水 曜 : 禁煙外来(毎週)/フットケア外来(第2・4週)
- 木 曜 : 肝臓専門外来/小児発達外来(第1週)/緩和ケア相談外来(午前)/緩和ケア(精神)外来(第2週)/緩和ケア(身体)外来(第4週)
- 金 曜 : 乳腺外来(午前)/小児循環器外来(偶数月/第4週)



科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで(救急は随時)
 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日